## ヒト型レスキューロボットコンテスト 2019 競技記録

## 競技結果

OECU 杯	競技者	所属	ロボット名
	NAKAYAN	関西四天王	レグホーン
搭載カメラ部門			
1位	NAKAYAN	関西四天王	レグホーン
2位	辻本 和暉	九州工業大学	パブロ
3位	綠茶	産業技術短期大学	<b>玉露</b> 弐式
目視部門			
1位	菱池 海斗	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	ホワイトサンダー
2位	松林 幸希	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	ブラックサンダー
3位	千谷 玲央	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	メカカニ
奨励賞・技術賞			
技術賞	イソタカ	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	erst
奨励賞	ᆫ	大阪産業大学	ヴァラン

## ファイナルミッション 評価

競技	競技者	所属	ロボット名	段X	部	総合	Α	В	С	D	タスク	残り時間	審査員
順					門	ポイント					ポイント	ポイント	ポイント
1	千谷 玲央	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	メカカニ	183	田	630					400	65	165
2	松林 幸希	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	ブラックサンダー	133	目	818					400	209	209
3	菱池 海斗	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	ホワイトサンダー	133	目	839					400	239	200
4	綠茶	産業技術短期大学	玉露弐式	133	搭	134					0	0	134
5	NAKAYAN	関西四天王	レグホーン	233	搭	927					400	300	227
6	辻本 和暉	九州工業大学	パブロ	183	搭	893					400	258	235

## ファーストミッション 評価

競技	競技者	所属	ロボット名	段X	部	総合	Α	В	С	D	タスク	残り時間	審査員
順					門	ポイント					ポイント	ポイント	ポイント
1	イソタカ	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	erst	133	目	620					400	75	145
2	菱池 海斗	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	ホワイトサンダー	133	目	826					400	264	162
3	鍵鷺さん	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	Robovie-X	133	目	150					100	0	50
4	藤原 充崇	産業技術短期大学	ピースゴーレム	133	目	411					300	0	111
5	綠茶	産業技術短期大学	玉露弐式	133	搭	119					0	0	119
6	森下 英治	大阪電気通信大学 升谷研究室	ガルガドル	183	搭	59					0	0	59
7	カテキン	産業技術短期大学	SUSUMU	133	目	466					300	0	166
8	松林 幸希	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	ブラックサンダー	133	目	764					400	171	193
9	ᄓ	大阪産業大学	ヴァラン	183	目	547					400	0	147
10	白井 拓也	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	emerald	133	目	420					300	0	120
11	ダイダラ	社会人	カイレイ	233	目	305					200	10	95
12	NAKAYAN	関西四天王	レグホーン	233	搭	866					400	300	166
13	大和谷 翠暖	大阪電気通信大学高等学校	DMS-翠	133	目	32					0	0	32
14	ムカサ	大阪工業技術専門学校 ロボット研究部	タイガー	133	目	308					200	0	108
15	ショウ	産業技術短期大学	SH-00	133	目	196					100	0	96
16	千谷 玲央	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	メカカニ	183	目	699					400	130	169
17	辻本 和暉	九州工業大学	パブロ	183	搭	930					400	295	235
18	二名川 和泉		スコブル_β1	183	搭	棄権							_

失格:イエローカードが3回宣言される場合など、失格となる、総合ポイントの欄に、「失格」と記載し、ポイントはない。

リタイヤ:ロボット検査後,ロボットの故障などにより競技の続行が不可能な場合,リタイヤが宣言できる. 残り時間ポイントの欄に「リタイヤ」と記載

する。リタイヤするまでに獲得したタスクポイントと審査員ポイントを合計し、総合ポイントに記載する。

棄権:競技会にエントリー後,ロボット検査前に,何らかの理由により,競技に参加できない場合.

部門:目:目視部門、搭:搭載カメラ部門 | A | B | C | D | タスクの成功・失敗(緑:成功,赤:失敗), A.トンネルくぐり, B.段差乗り越え, C.ガレキ除去, D.要救助者搬送